

まちの話題

近代のロマンに思いを

町生涯学習まちづくり大会

11月16日、日野町生涯学習まちづくり大会(町主催)が、町文化センターで開かれました。

大会では、「21世紀のまちづくりを考える」をテーマに、中学生らによる実践発表のほか、古代出雲歴史博物館の角田徳幸さんによる「都合山たたらから見た日野郡の鉄生産について」と題した記念講演が行われました。

角田さんは、全国的にも貴重な都合山たたら遺跡の成り立ちや当時の製鉄産業などについて詳しく話し、集まった約130人の参加者は真剣に聞き入っていました。



文化遺産としてのたたら保存、活用を訴える角田さん

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで(電話72-0332)



松本節哉さん



塚本正夫さん

生きがいづくりなどに尽力

鳥取いきいき長寿知事表彰

年齢にとらわれず、社会とのかわりを持ちながら生きいきとした生活を送っている高齢者を表彰する、鳥取生きいき長寿知事表彰に、日野町から、松本節哉さん(本郷)と塚本正夫さん(舟場)が選ばれ、11月22日とりぎん文化会館(鳥取市)で表彰式が行われました。

松本さんは、県のごとびきりリーダーとしての活動、特に郷土玩具の伝承に尽力されたことが、また塚本さんは、町陶芸グループ会長として20年にわたって指導を続け、生涯学習やものづくり、生きがいづくりに尽力されたことなどが認められ、今回の受賞となりました。

高齢者世帯に安心を

住宅用火災警報器など贈呈

社団法人全国消防機器協会による「住宅用火災警報器配布等モデル事業」として、黒坂地区自主防災委員会(福田和也会長)に、住宅用火災警報器100個と消火器25本が贈呈され、その贈呈式が11月12日、町公民館で行われました。贈呈式には関係者ら25人が出席、福田委員長が景山享弘町長から目録を受け取りました。

火災警報器は、黒坂地区連合区内の75歳以上の高齢者世帯などに設置され、消火器は各自自治会の避難所に設置されます。

平成18年6月1日以降の新築住宅には、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。また、既存の住宅には、平成23年5月末までに設置する必要があります。



福田会長(左)から各自自治会へ手渡されました

オシドリ支えた24年

住民まちづくり大賞

新日本海新聞社西部本社の設立25周年の記念事業として、県西部の各市町村で地域振興やまちづくりに尽力している団体を表彰する「住民まちづくり大賞」が決定し、日野町からは、日野町オシドリグループ(池岡幸三代表)が受賞しました。

オシドリグループは、代表の池岡さんが20数年前から行っていたオシドリの餌付け活動に賛同した人たちによって結成されました。現在はオシドリの保護活動や観察小屋での案内ボランティアなどを通して、まちのシンボル、オシドリの愛らしい姿を全国に発信しています。

11月17日に町役場で行われた表彰式で池岡さんは、「まちの皆さんが協力してくださったおかげです。活動を始めて24年目。これからは若い後継者を育てたい」と話しました。



景山町長から伝達を受ける池岡さん(右)

黒坂のまちを作った人

「関一政の生涯」講演会

黒坂鏡山城の城主だった関一政について学ぼうと、鏡山城の保護活動などに取り組んでいる、黒坂鏡山城下を知ろう会(牧智也会長)主催の講演会が、11月28日、町公民館で開かれました。

この講演会には、町内外から約100人が参加し、滋賀県日野町立図書館学芸員の振角卓哉さんの講演を聞きました。

振角さんは、関一政の生い立ちや当時の武将の勢力関係、関氏が鏡山城を造った時のことなどを分かりやすく解説しました。

また、会場では、県内初公開となる関一政の肖像画や、鏡山城跡から発掘された瓦なども展示され、参加者からは、黒坂のまちを作った人物について思いを馳せ、感動を呼び起こしました。



戦国武将などを研究している振角さん

思いやりの心を大切に

人権週間事業所訪問

「育てよう 一人一人の 人権意識」をスローガンに、12月4日から10日まで、第60回人権週間が行われました。

町では、この週間に合わせ、12月5日、人権擁護委員による事業所訪問が行われました。

訪問したのは、人権擁護委員の烏居良光さん(黒坂)、山田厚弘さん(津地)、山根美奈子さん(野田)。3人は、町内の事業所や学校などを訪ね、「差別のない明るいまちをつくりましょう」と呼びかけながら、啓発ポスターや啓発グッズなどを手渡ししていました。



セルプひのの皆さんと山根さん(左)

日野のたたらを全国へ

たたらシンポジウム

上菅の都合山たたらや日南町の砥波たたらなど、奥日野のたたらについて考える「たたらシンポジウム(町商工会ほか主催)」が、12月6日、町文化センターで開かれ、約120人が参加しました。

シンポジウムでは、古代出雲歴史博物館の角田徳幸さんによる基調講演のあと、研究者ら6人によるパネルディスカッションが行われました。

そこでは、古代から続いたたたらを全国発信するためにどうすればよいか話し合われ、近藤家や町並みを生かしたまちづくりや、人同士の連携、インターネットを使った情報発信などの意見が出されました。



たたらや山陰の文化などについて議論

地道な活動が評価

優良PTA文部科学大臣表彰

文部科学省が全国の優秀な実績を上げているPTAを表彰する、平成20年度優良PTA文部科学大臣表彰が行われ、黒坂小学校PTA(長尾孝夫会長)が表彰団体に選ばれました。

これは、同PTAが行っている、ノーテレビデーやすこやか家族会議の取り組み、あいさつ運動の推進や昔遊びの伝承などの活動が評価されたものです。

表彰式は、11月20日、東京都で行われ、長尾会長が出席し、表彰状を受け取りました。

長尾会長は、「地道な活動が評価されたんだと思って感謝しています。これを励みにこれからも活動を頑張りたい」と感想を話しました。



表彰状を手にする長尾会長